

2000万円から行ける!?

月めぐり、地球見物、無重力体験 etc. 最新の“宇宙旅”情報が満載

『夢の宇宙旅行 完全ガイド』 11/17発売!



ついに実現する宇宙旅行！費用からシミュレーション、宇宙船まで、最新情報を徹底的にご紹介します！

2021年7月、米企業の宇宙船が立て続けに民間人を乗せた試験飛行に成功するなど、いまや夢物語ではなくなった“宇宙旅行”。本誌は、宇宙開発取材の専門組織「宇宙作家クラブ」会員の村沢譲氏監修のもと、ついに始まった民間人宇宙旅行の全貌を解説しています。人類が挑んできた宇宙開拓の歴史や宇宙旅行の鍵となる「サブオービタル飛行」、各企業による旅の行程や費用などの比較、そして今年12月に宇宙に飛び立つ実業家・前澤友作氏の訓練の様子やインタビューなど盛りだくさんの内容でお届けします。宇宙がより身近に、より魅力的になる宇宙旅行最前線の一冊です！

『夢の宇宙旅行 完全ガイド』
発売日：2021年11月17日(水)
定価：1100円(税込)

◆「サブオービタル飛行」で宇宙旅行がグッと身近に！

いま民間宇宙旅行分野で注目を集めているのが、高度100km程度の宇宙空間で無重力体験を楽しむ「サブオービタル飛行」。地球周回軌道に乗る従来の「オービタル飛行」に比べ、システムが簡略化できるうえに機体の再使用が容易になり、費用も2000～3000万円程度で済むとみられています。

宇宙を体感できる時間が短いものの、眼下に地球を眺めながら数分間の無重力状態を楽しめます。

	オービタル飛行	サブオービタル飛行
飛行経路	地球周回軌道に乗る	地球周回軌道に乗らない
宇宙飛行時間	制限なし	数分
費用	数十億円	2000～3000万円程度

◆トップ企業2社の宇宙旅行を徹底比較！

サブオービタル飛行の技術を利用した宇宙旅行でトップを競うのが、米国のヴァージン・ギャラクティック社とブルーオリジン社です。本誌では、企業の成り立ちから宇宙船開発の経緯、それぞれの宇宙旅行プランや宇宙船などの徹底比較も掲載しています。

	ヴァージン・ギャラクティック社	ブルーオリジン社
費用	1人あたり約5000万円	1人あたり約2000～3000万円 (変更の可能性あり)
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙空間で約4分間の無重力体験 ・恋人同士や家族連れに向けて複数席セット、1機丸ごと貸し切りなどのオプションあり ・参加条件は18歳以上で一般的に健康な人 ・3日間のトレーニングが必要 ・グライダー飛行で滑走路に着陸 	<ul style="list-style-type: none"> ・打ち上げから着陸まで10分程度 ・宇宙空間で約5分間の無重力体験 ・乗員数は6人(完全自動操縦でパイロットなし) ・トレーニングは2日程度 ・着陸はパラシュートで
	 <p>©Virgin Galactic</p> 	 <p>©Blue Origin</p> 

注目プラン続々！宇宙旅行最前線

民間宇宙旅行業界でトップを独走するのが、アメリカのスペースX社。国際宇宙ステーション（ISS）への正式輸送船に採用され、2021年9月には初の民間人みでの地球周回飛行を実現するなど、民間宇宙旅行業界をけん引しています。スペースX社のこれまでの偉業や、地球周回飛行「インスピレーション4」の全貌、さらに、今後実現しようとしている月周回旅行も本誌で解説。そのほか、世界の宇宙関連会社のさまざまな旅行プランも紹介しています。



前代未聞の民間人だけで挑んだ地球周回飛行 © SpaceX

	スペースX社 (アメリカ)	PDエアロスペース社 (日本)	スペース・アドベンチャーズ社 (アメリカ)
ツアー日数	約6日間	約90分	13日間
費用	1人あたり約80～110億円	1人あたり1700万円(未確定)	1人あたり約50億円(推定)
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・月周回旅行。条件によって月の地平線から地球が見られる ・乗員は9人+パイロット数人 ・数か月の訓練が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・高度約100kmの宇宙空間で約5分の無重力状態を体験できる ・乗員は6人+パイロット2人 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際宇宙ステーション滞在旅行 ・訓練期間は100日間

◆ISSへ出発間近の前澤氏のインタビュー、日本で楽しめる宇宙体験ほか内容盛りだくさん！

スペースX社の「月周回旅行」には、日本人の資産家・前澤友作氏が全席の権利を取得し、2023年の出発に向けて準備が進められています。

前澤氏は月周回旅行に先立って、今年12月に日本の民間人として初めてISSで12日間ほど滞在する予定で、本誌ではロシアで訓練中の前澤氏にインタビューし、訓練内容や月旅行にかける思いなどを語っていただきました。

また、日本各地の宇宙情報を学んだり体験できる施設についても掲載。体験型展示を取り入れている施設も多く、中には最新のVR機器を導入してリアルな宇宙旅行を疑似体験できるなど、楽しみながら学べる施設が満載。いつか来る宇宙旅行時代に備えて足を運んでみてはいかがでしょうか。



無重力訓練に挑む前澤友作氏



国際宇宙ステーション「きぼう」
模型内のフォトスポット



郡山市ふれあい科学館・スペースパーク内
NASAの無重力訓練に使われた
「トリプルスピン」で宇宙飛行士気分



四日市市立博物館・プラネタリウム
に展示される宇宙服レプリカ

監修：村沢 謙(むらさわ・ゆずる)

青山学院大学卒業。作家、ライター。宇宙作家クラブ会員。主な著書に「宇宙を仕事にしよう！」「世界一わかりやすいロケットのはなし」「日の丸ロケット」など。記事執筆のかたわら、Indeedの宇宙仕事適性テストの監修なども行っている。